

「過労死等防止対策推進シンポジウム」が開催されました

茨城労働局 労働基準部 監督課

厚生労働省では毎年11月の「過労死等防止啓発月間」に、「過労死をゼロにし、健康で充実して働き続けることのできる社会へ」をテーマに、「過労死等防止対策推進シンポジウム」を全国において開催しています。

茨城県では、去る11月7日（金）に土浦市亀城プラザにおいて同シンポジウムが開催されました。（主催：厚生労働省茨城労働局、後援：茨城県）

同シンポジウムでは、茨城労働局の江口労働基準部長による主催者挨拶、中村監督課長による過重労働白書の解説等の他、神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科教授の津野香奈美氏による「パワハラのは発生は予防できるのか？過労死のない社会を目指して」と題した基調講演が行われ、続いて令和3年度に茨城労働局長が働き方改革を進めるベストプラクティス企業として職場訪問したカゴメ(株)茨城工場 生産管理課長の元西健雄氏から「働き方の改革は生き方改革～カゴメの進化～」と題した、業務の見える化と改善による労働時間削減等の好事例が紹介されました。

この他、過労死を考える家族の会の過労死ご遺族 佐戸恵美子氏によりご息女が職場で孤立し長時間の過重労働に追い込まれていく様子などが語られ、「家族は職場環境・人間関係を注意深く見守り最後の砦になってください。」と訴えました。

参加者は、県内の事業主や労務管理担当の方々を中心に90名を超え、過労死等の防止に対する関心の高さを示すものとなりました。

茨城労働局では、今後も、過労死等の防止・過重労働解消のため、様々な取組を行ってまいります。

基調講演 津野香奈美 氏



茨城労働局労働基準部長 江口勇次

過労死ご遺族 佐戸恵美子 氏

カゴメ(株) 元西健雄 氏

